

企画展関連ミニギャラリー展

「子どもの楽しみ 紙芝居」展

2017年10月6日（金）～



企画展関連展示

「子どもの楽しみ 紙芝居」展

テレビのなかった時代、紙芝居は子どもたちの大きな娯楽の一つでした。紙芝居屋が自転車で全国各地をまわり、料金の代わりに駄菓子を売って、子どもたちは釘付けになりました。

「黄金バット」といった冒険ものの他に、「教育紙芝居」と呼ばれる道徳や衛生を啓蒙するもの、戦時中は子どもにも国策を行き渡らせるための軍国紙芝居も多く作られました。昭和のくらし博物館所蔵の紙芝居の中から特徴的な作品をご紹介します。